

第52回

岡山臨床精神薬理研修会

2018年

1月28日 日 13:00-16:00

岡山大学病院 マスカットキューブ3階 岡山市北区鹿田町2-5-1

特別講演Ⅰ

座長：武田俊彦 先生（慈圭病院 副院長）

講師：岡田 俊 先生

名古屋大学医学部附属病院 親と子どもの心療科 准教授



「ADHDの病態と薬物療法—成人期までを含めて」

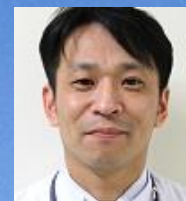
ADHDの神経生物学的病態と薬物療法の奏効機序について述べるが、そのなかでは特に成人期ADHDへの児童期からの連続性についての昨今の知見とその解釈、併存障害のある場合の治療方針の建て方について焦点を当てて検討する。

特別講演Ⅱ

座長：岡 牧郎 先生（岡山大学病院 小児神経科 講師）

講師：宇佐美 政英 先生

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター国府台病院
児童精神科 診療科長



「注意欠如・多動症の臨床における新たな薬物療法」

注意欠如・多動症の治療では、心理社会的治療だけでは十分な治療効果を得ることができず、メチルフェニデート、アトモキセチン、グアンファシンの三つの薬剤を中心とした薬物療法を導入しなくてはならないことがある。当日は、児童精神科臨床医の立場から、その治療戦略について述べたい。

ワークショップ

座長：来住 由樹 先生（岡山県精神科医療センター 院長）

ファシリテーター

千田真友子 先生（岡山大学病院精神科神経科 医員）

大重 耕三 先生（岡山県精神科医療センター 外来副医長）

牧野 和紀 先生（岡山県精神科医療センター 精神科救急入院棟副医長）

吉村 優作 先生（慈圭病院 病棟医長）

鷺田 健二 先生（川崎医科大学精神科学教室 講師）

※ 参加費は無料で予約は不要です。

※ 日本精神神経学会精神科専門医制度の単位取得(C群)ができます。

連絡先

岡山大学病院 精神科神経科医局：086-235-7242